

本ウェビナーの流れ

1

**ServiceDesk Plus活用による4つの改善事例
「ツール導入でコスト50%削減」を実現しよう！**

2

**ROI計算シートの使い方を動画で解説
ServiceDesk Plus導入による費用対効果を算出しよう**

ManageEngine
ServiceDesk Plus

COST

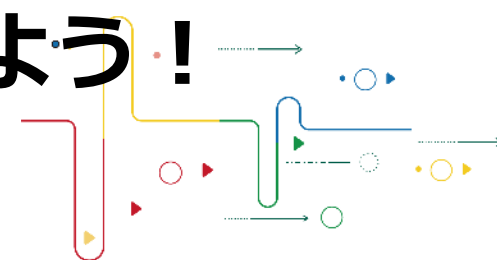


ManageEngine
ServiceDesk Plus

ServiceDesk Plus活用による4つの改善事例

「ツール導入でコスト50%削減」を実現しよう！

ゾーホージャパン株式会社



ツール導入によるさまざまなメリット！ その具体的な中身とは？

インシデント管理や社内ワークフローの改善、IT資産管理の最適化、ITIL®プロセスの導入について、「もっと効率的にできれば…」「社内リソースが足りない…」といったお悩みはございませんか？

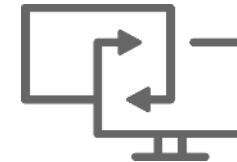
ツール導入にはこれらのお悩みを解決する多くのメリットがございます。

コスト削減



業務自動化で管理コストを削減

業務の効率化



ワークフローを改善し、業務を効率化

サービス品質向上



リソースを最適化し、サービス品質を向上

迅速なエスカレーション



ツールからの配信で迅速なエスカレーション

※ ITIL（IT Infrastructure Library®）はAXELOS Limitedの登録商標です。

- コスト削減例のご紹介
- 今後のアクションステップ°

COST



ManageEngine
ServiceDesk Plus

4つのコスト削減例

ツール導入によるコスト削減例をご紹介します。

本コスト削減事例は、架空のモデル企業を利用したものです。（モデル企業詳細は後述）

Case1

インシデント管理

対応がバツティングし、遅延
ノウハウが属人化

ツール活用で
インシデント管理の工数が

1/2 以下に！

Case 2

リクエスト管理

依頼が重複
担当者・進捗が不明瞭

社内ワークフローシステムの
改善でリクエスト対応期間を

1/2 に！

Case 3

IT資産管理

エクセル管理で
手間がかかりミスが多い

エクセル管理からの脱却で
IT資産管理工数が

1/3 に！

Case 4

ITIL®プロセス全体

ワークフローにムダが多い
部門間の連携に課題

ITIL®プロセス全体を導入し
効率化でスタッフ要員数を

2/3 に！

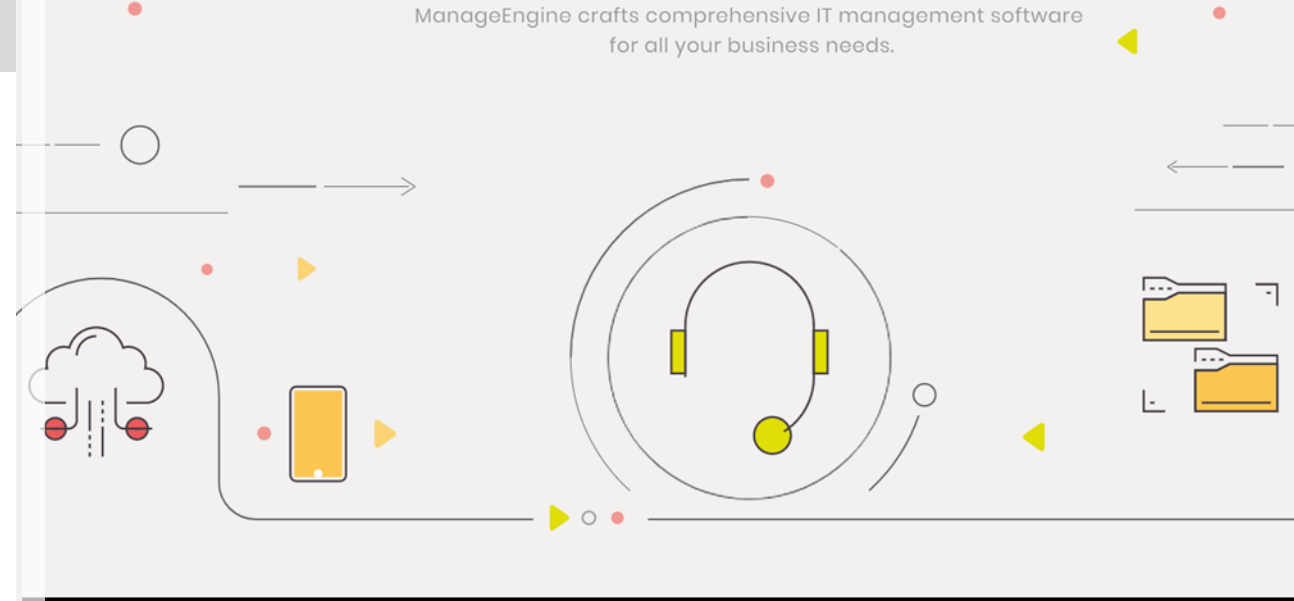
※ ITIL（IT Infrastructure Library®）はAXELOS Limitedの登録商標です。

コスト削減例

- インシデント管理
- リクエスト管理
- IT資産管理
- ITIL®プロセス全体導入

Bringing IT together

ManageEngine crafts comprehensive IT management software for all your business needs.



※ ITIL (IT Infrastructure Library®) はAXELOS Limitedの登録商標です。

インシデント管理 — 問題点と目指すべき姿 —

インシデント管理の問題点

- 周囲の業務がわからず、対応がバツティングする
- 対応の遅れやモレが発生し、ユーザーや顧客の苦情につながる
- エスカレーションが遅い、または適切なエスカレーション先が不明確
- 業務ノウハウが属人化している



目指すべき姿

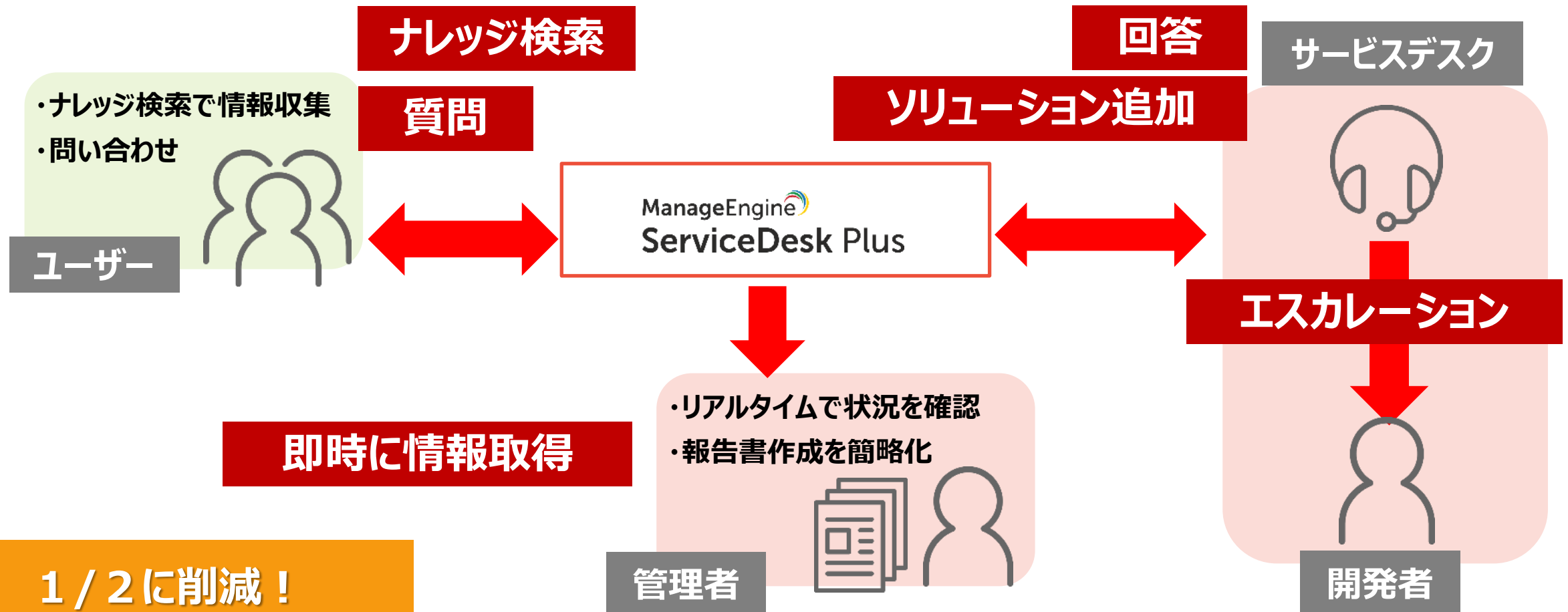
- 周囲と連携し、作業遅延や漏れがない
- エスカレーションが迅速に、適切に実施される
- ナレッジが蓄積され誰でも利用ができる
- データを分析し、インシデントの未然防止につなげる

迅速な情報連携と対応

迅速な復旧でサービス品質を向上

ツール活用でインシデント管理工数が1/2以下に！

情報をツールに集約し、進捗を確認／管理する体制を整えることで、対応のバッティングや遅延を防ぎます。
よくある質問への回答履歴を「ナレッジ」として公開し、日々のお問合せ件数が50%削減されるケースもございます。



SDP導入時のROI — インシデント管理 —

●インシデント管理導入例（モデル企業）

ツールを活用し、インシデント管理を導入した場合(3年累計)

収益額



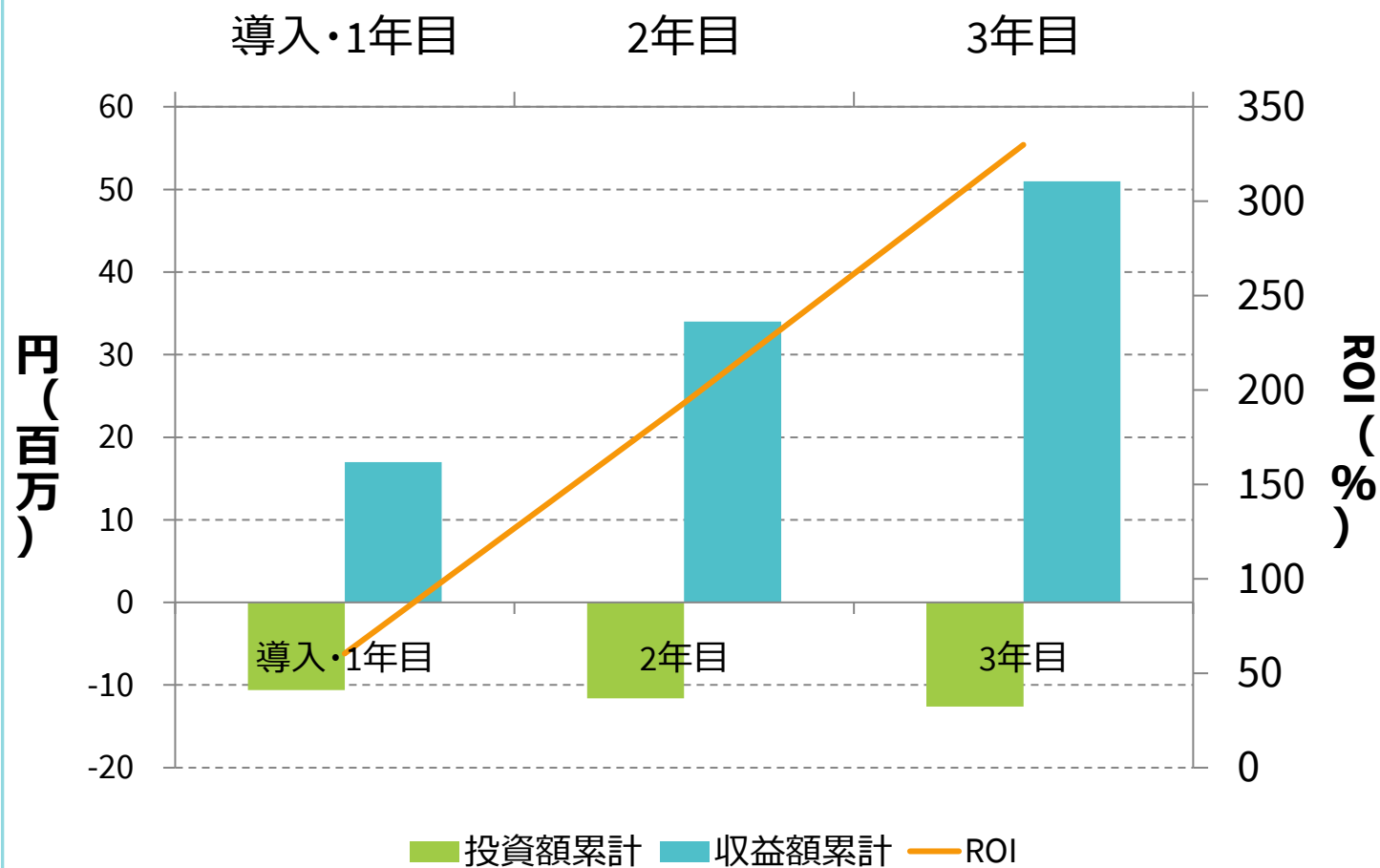
¥41,140,250

ROI



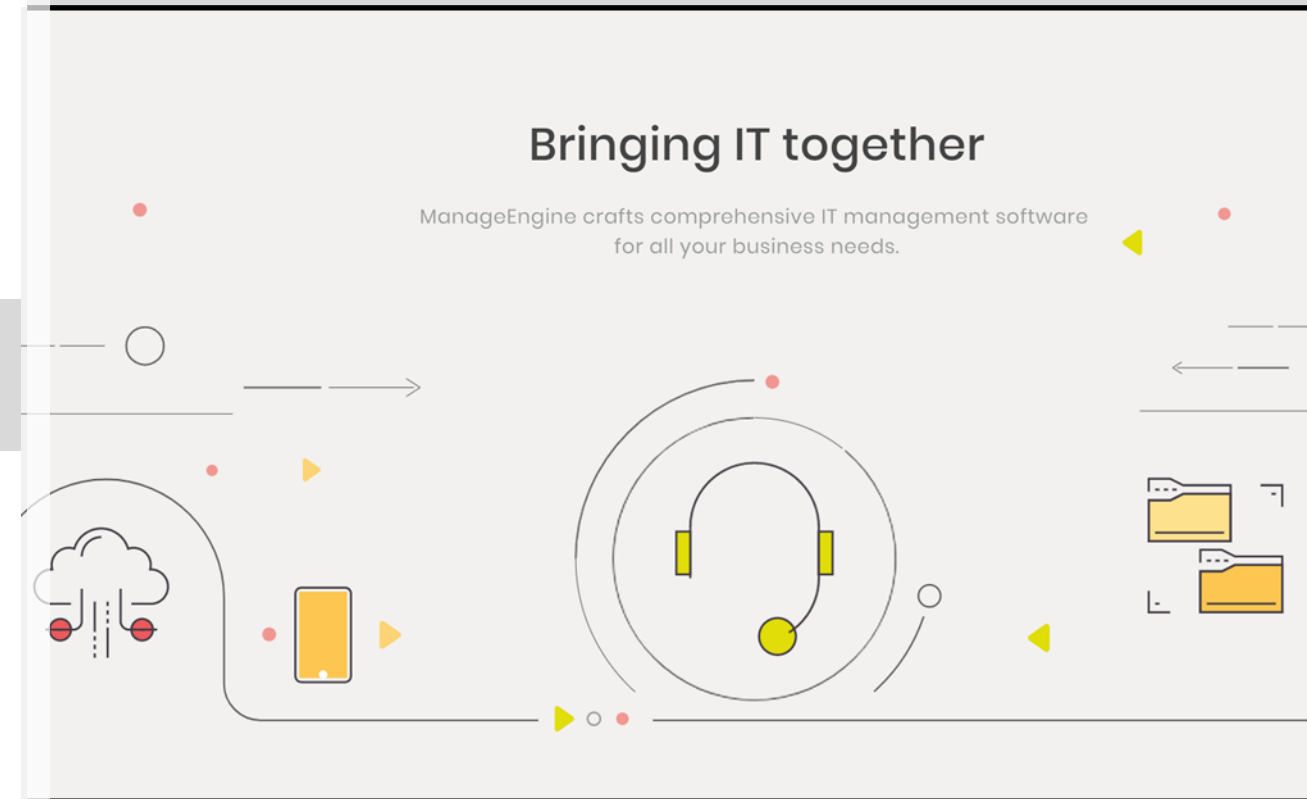
323%

導入による投資・収益額とROI



コスト削減例

- インシデント管理
- リクエスト管理
- IT資産管理
- ITIL®全体導入



※ ITIL (IT Infrastructure Library®) はAXELOS Limitedの登録商標です。

リクエスト管理 — 問題点と目指すべき姿 —

リクエスト管理の問題点

- 「いま、どんな依頼がある？」 … 優先度が不明
- 「いま、だれが対応している？」 … 担当者が不明
- 「いま、どこまで進んでいる？」 … 進捗が不明
- 「どんなリクエストが多い？ 何が望まれている？」
… 利用すべきナレッジが不明



目指すべき姿

- 「いま、対応すべき依頼」がわかる
- 「いま、作業している担当者」がわかる
- 「いま、どこまで進捗しているか」がわかる
- 「リクエストの傾向」「使えるナレッジ」がわかる

リクエストを一元管理

一元化されたリクエスト管理で業務を効率化

社内ワークフローシステムの改善でリクエスト対応期間を1/2に！

メール、口頭、電話、チャット...あらゆる形式で送られてくるリクエストをServiceDesk Plusに一本化し、あらかじめワークフローの整理・設定を行うことで、対応完了までの時間を1/2に短縮することが可能です。

導入前

受付

依頼が拡散

メール、口頭、電話、チャット...

対応

情報不備による

確認作業、
新たな**タスクが追加**

担当者不明

誰が／何を／どこまで着手してる？

対応状況照会

など、不要な
問合せ追加

**2週間で
作業終了**

導入後

受付

フォーマットを統一
情報を集約

対応

タスクを
テンプレート化
対応漏れや
出戻りを防止

適切な担当者
への**割当て**
ルール適用

通知の自動化
進捗を明確化

ムダや作業漏れをなくし
1週間で作業終了！
期間を1／2短縮！

SDP導入時のROI — リクエスト管理 —

●リクエスト管理導入例（モデル企業）

ツールを活用し、リクエスト管理を
導入した場合(3年累計)

収益額



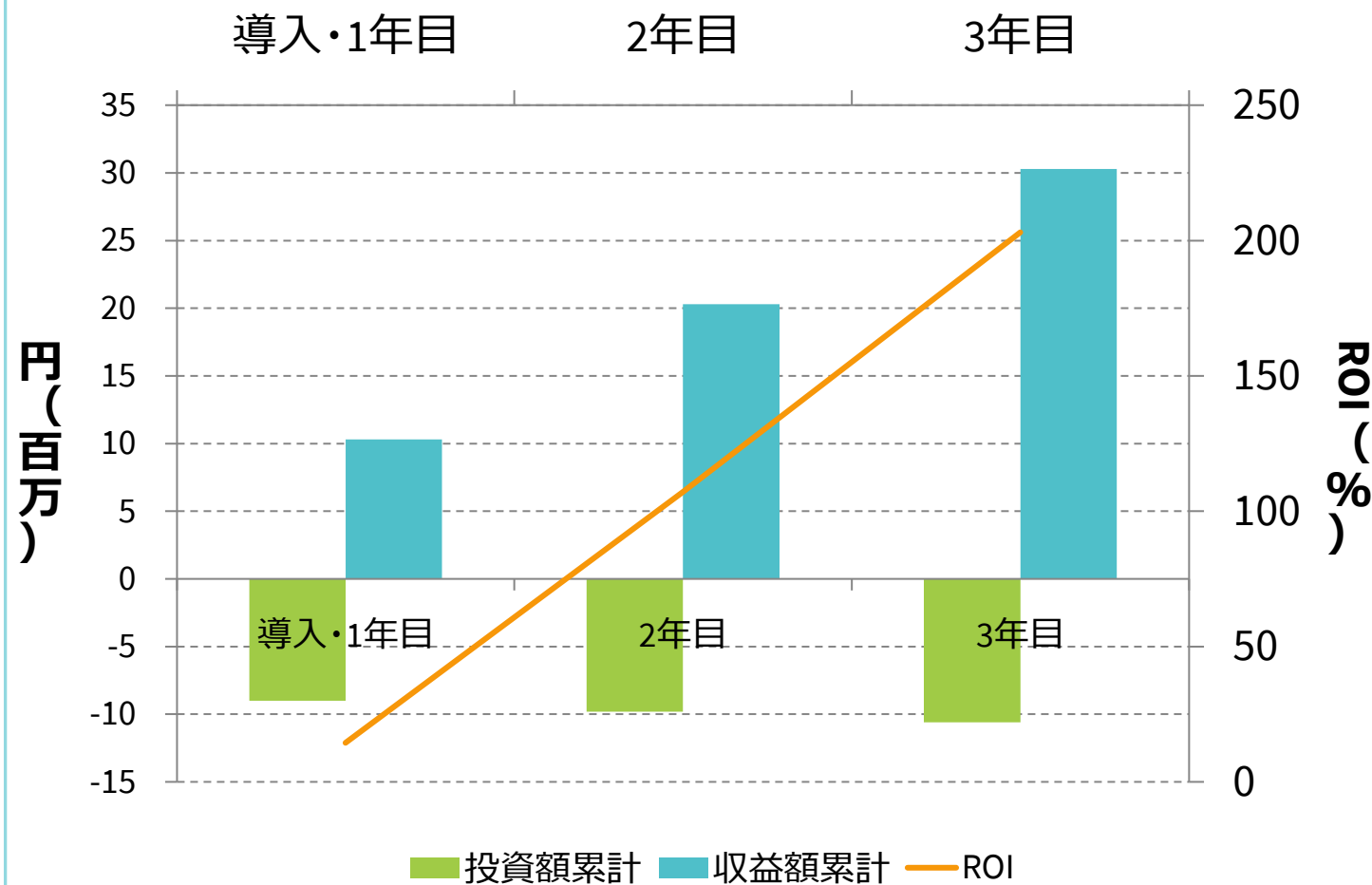
¥21,698,000

ROI



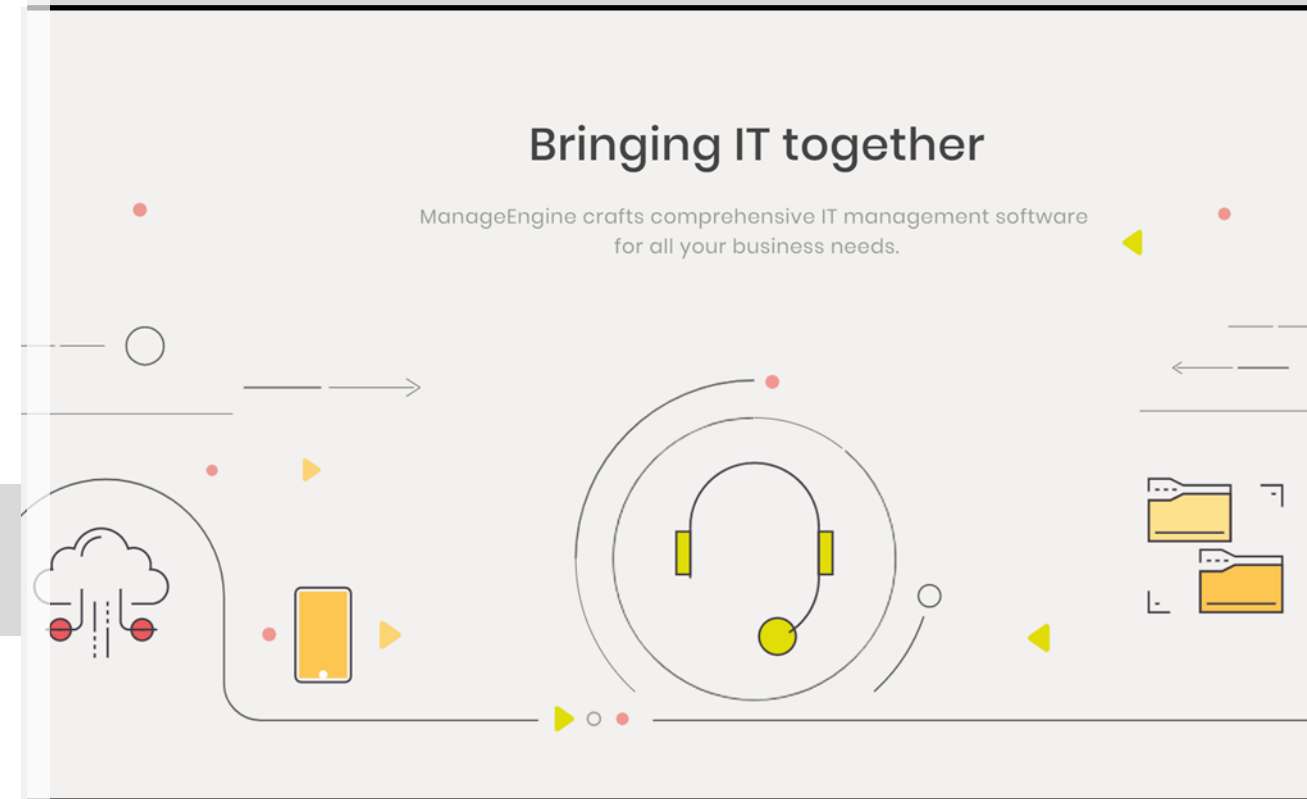
203%

導入による投資・収益額とROI



コスト削減例

- インシデント管理
- リクエスト管理
- IT資産管理
- ITIL®全体導入



※ ITIL (IT Infrastructure Library®) はAXELOS Limitedの登録商標です。

I T 資産管理 — 問題点と目指すべき姿 —

I T 資産管理の問題点

- 「この資産情報は新しいのか？」 …最新版か不明
- 「棚卸作業が大変」 …管理方法、管理者が不透明
- 「インシデントや問題対応の情報元にできれば…」
… 情報の正確性に不安
- 「必要な情報をすぐにデータ化できれば…」
… 情報の適切・迅速な抜き出しが困難



目指すべき姿

- 「常に最新化された資産情報」がわかる
- 「面倒な手作業の棚卸」から解放される
- 「インシデント、問題の解決に有効な手立て」となる
- 「使用状況」「詳細な資産情報」を即座にレポート化

正確な資産情報を保持

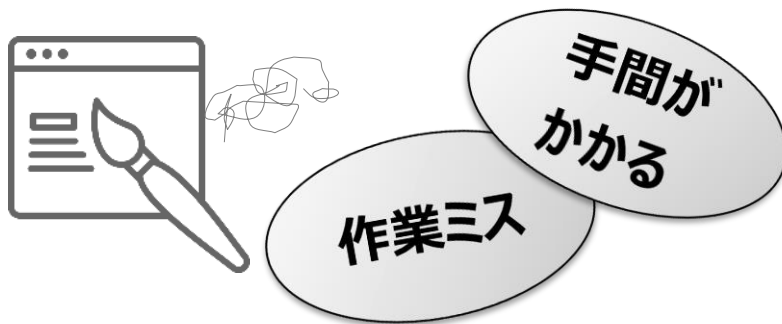
正確な I T 資産情報はすべてのプロセス改善につながる

エクセル管理からの脱却でIT資産管理工数が1/3に！

ツールを用いて資産情報のスキャンや自動集計を行うことで、エクセルシートに集めた情報の確認・更新作業が1/3に縮小できた事例がございます。また、最新の情報が高い精度で管理されることで、セキュリティインシデントが起きた際の影響把握や対処時間も大幅に削減されます。

導入前

手作業でデータ集計・管理

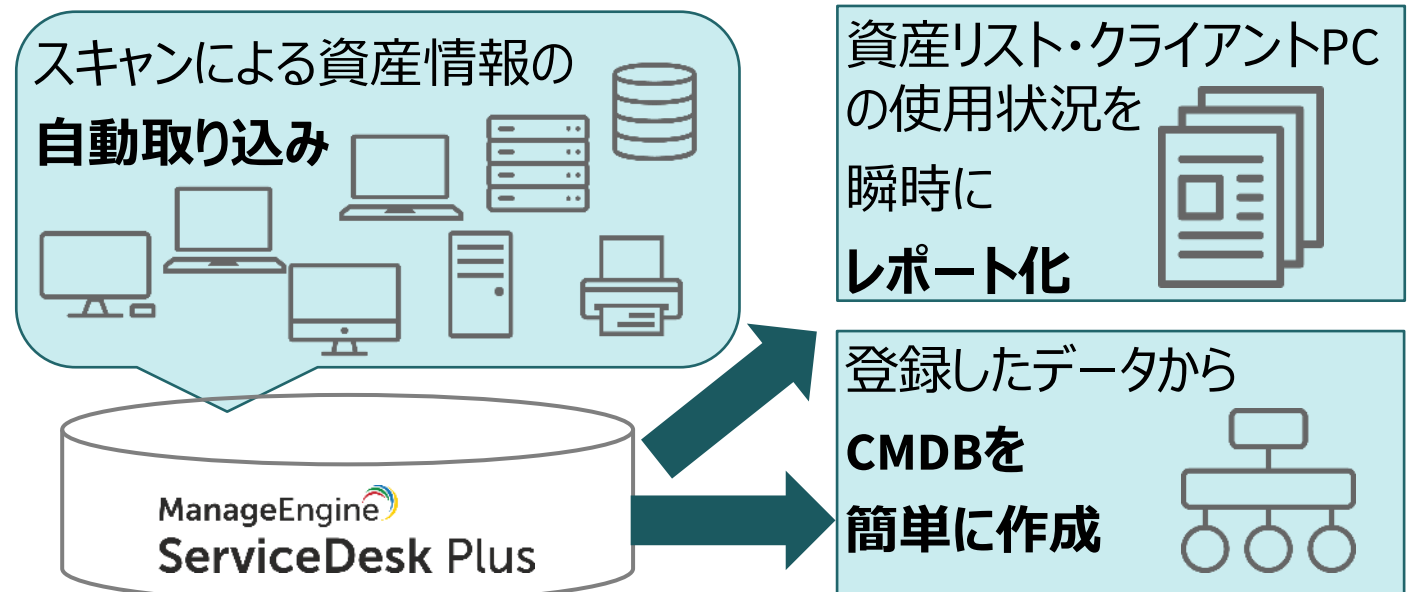


例：エクセル台帳によるマニュアル管理
IT資産のカウント、資産表への記入、利用
状況の聞き込み...

1 / 3 に削減！

SDP導入後

データの自動取得・CMDB化



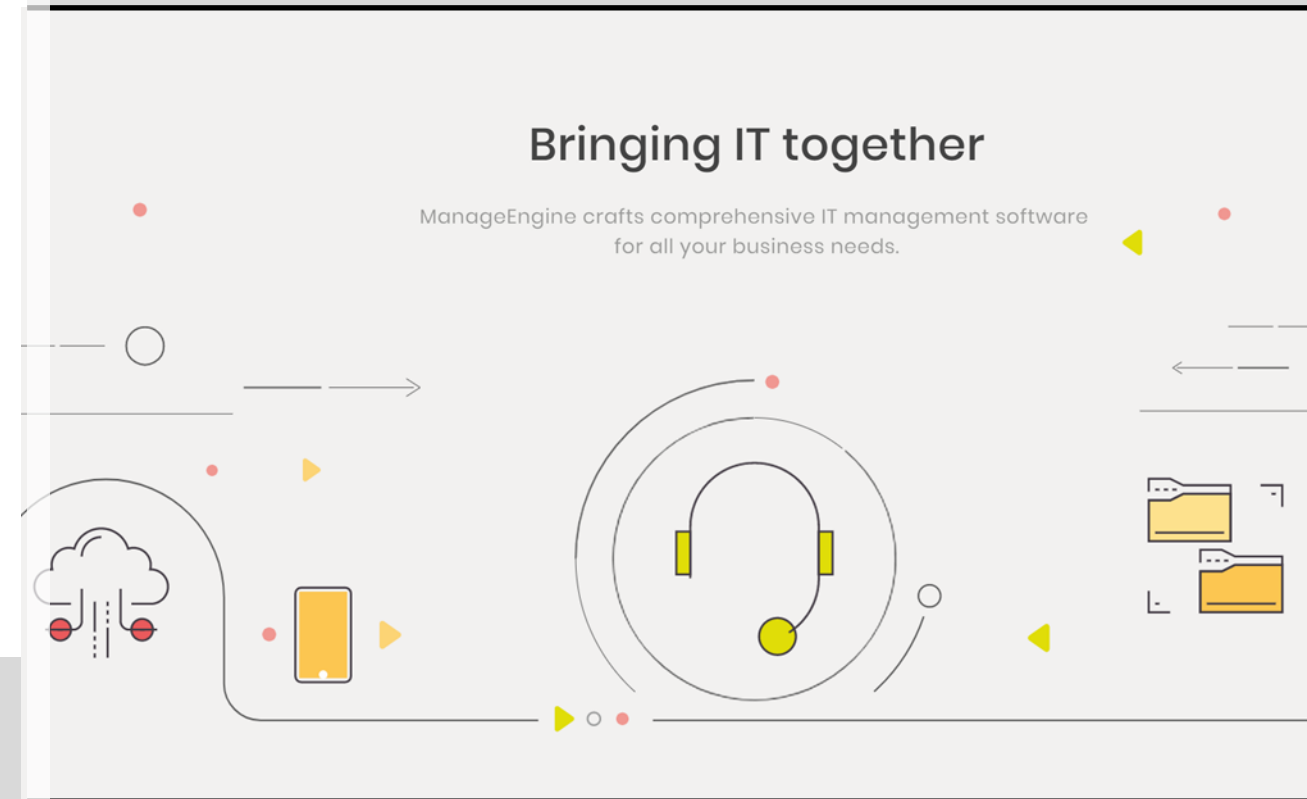
SDP導入時のコスト削減効果 — IT資産管理 —

●IT資産管理導入例（モデル企業）

Excelファイル管理 の場合	IT資産管理対応コスト (人件費・年) 780万円	他プロセス対応コスト (人件費・年) 1億1,700万円	ライセンス・資産保守コスト (年) 2,000万円
SDP資産管理 の場合	IT資産管理対応コスト (人件費・年) 390万円	他プロセス対応コスト (人件費・年) 1億530万円	ライセンス・資産保守コスト (年) 1,800万円
SDP導入効果	<u>390万円削減</u>	<u>1,170万円 削減</u>	<u>200万円 削減</u>
年間：総額 1,760万円のコスト削減効果			

コスト削減例

- インシデント管理
- リクエスト管理
- IT資産管理
- ITIL®全体導入



※ ITIL (IT Infrastructure Library®) はAXELOS Limitedの登録商標です。

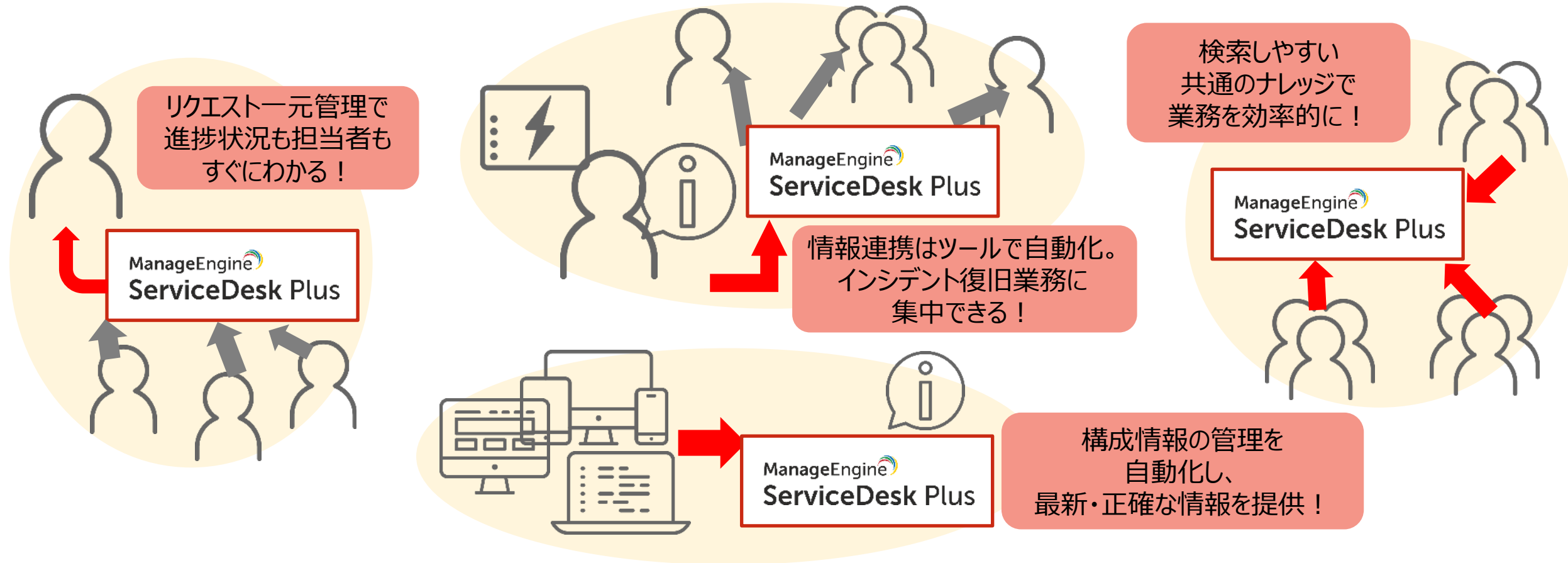
ITIL®プロセスが実施されない現場とは

ITIL®プロセスを実施していない現場は、作業の工数がかさみ、オペレーションミスが発生し、混乱を招きます。



**やるべきことをやっているのに仕事が減らない！ 現場が疲弊し生産性が低下！
⇒組織が本当にやるべきことにフォーカスするには？**

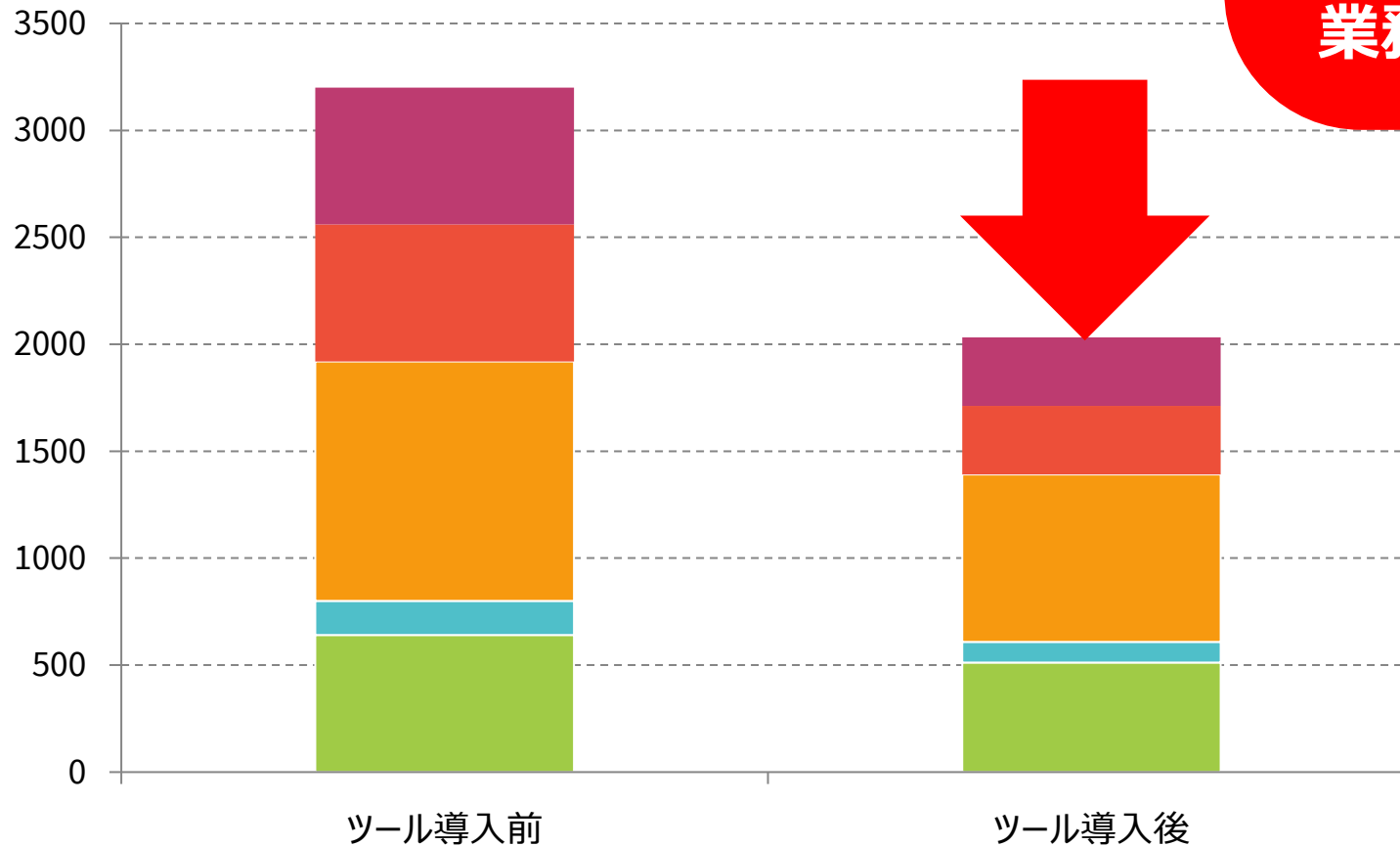
ツールの利活用でITIL®運用をスムーズに



ServiceDesk Plusで、プロセスを自動化・スムーズな情報連携を実現。
削減リソースは、重要視するコア業務や、今後力を入れたいビジネスに有効活用。

ITIL®プロセスでツール利用する効果

ツール利用時の対応工数削減効果



コスト削減・
業務効率化へ！

- インシデント
→50%削減
- リクエスト管理
→50%削減
- 変更・リリース管理
→30%削減
- IT資産管理
→40%削減
- その他プロセス
→20%削減

(グラフは月間延べ対応時間)

※ ITIL (IT Infrastructure Library®) はAXELOS Limitedの登録商標です。

SDP導入時のROI — ITIL®プロセス全体 —

● ITIL®プロセス導入例（モデル企業）

ツールを活用し、ITIL®プロセス
全体を導入した場合(3年累計)

収益額



¥176,488,250

ROI



971%

	初期投資	3年累計	5年累計
投資額	¥10,066,000	¥18,178,000	¥25,830,000
効果額	-	¥194,666,250	¥324,443,750
収益額	-	¥176,488,250	¥298,613,750
ROI	-	971%	1156%

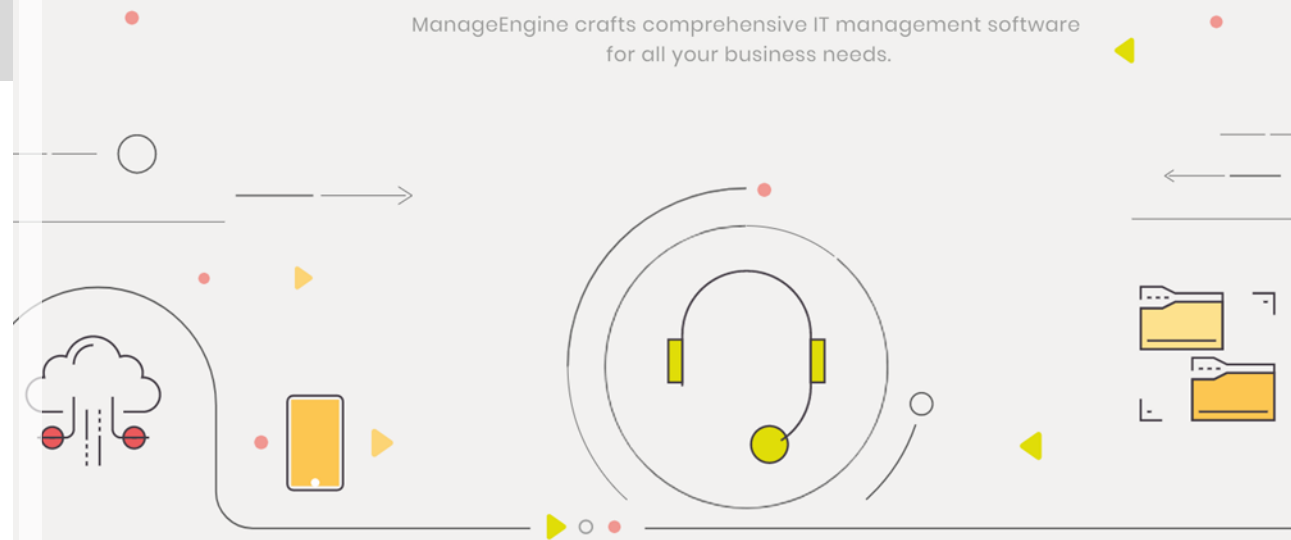
- 導入プロセス…インシデント、リクエスト、IT資産、変更・リリース、その他
- 対象SDPライセンス…クラウド（年間ライセンス）/Enterprise/50ライセンス

今後のアクションステップ

- 今後のアクションステップ

Bringing IT together

ManageEngine crafts comprehensive IT management software for all your business needs.



今後のアクションステップ

費用対効果やKPIのイメージはついても、「**具体的な計画を策定するのが難しい**」「**主業務がある中で、ツール導入のプロジェクトを進められる自信がない**」「**自社の現状洗い出しから行う必要がある**」などの課題を感じられるお客様がほとんどです。弊社の実績より、以下の課題相談サービス（無料）をご利用されることをお勧めいたします。

課題相談のメリット

1. 貴社の課題を整理できるROI計算書をご提供します。
2. ITSM分野の専門的な知識を持ったコンサルタント（パートナー企業）をご紹介します、対面のご挨拶に伺います。
3. 具体的なコスト削減プランをご提示するので、社内検討や稟議を進めやすくなります。



ROI計算書(Excel)には、入力手順など使い方が記載されています。導入後イメージのご参考にお使いください。

まずはココから！



ITSM分野に実績のある支援企業（弊社パートナー）をご紹介します、訪問に参ります。



支援企業より、具体的なコスト削減プランをご提示します。

Point!

弊社製品のご購入や支援企業のサービスご利用は**必須ではありません**。ひとまずのご挨拶のみでもお伺い致します。

まずは貴社の課題を整理するだけでも有益です！ぜひご検討ください

営業連絡先

ゾーホージャパン株式会社 ManageEngine 営業担当



045-319-4612



jp-mesales@zohocorp.com

〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号
みなとみらいセンタービル13階

ServiceDesk Plus製品サイト
https://www.manageengine.jp/products/ServiceDesk_Plus/



COST

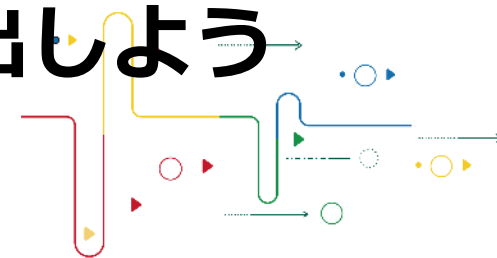


ManageEngine
ServiceDesk Plus

ROI計算シートの使い方を動画で解説

ServiceDesk Plus導入による費用対効果を算出しよう

ゾーホージャパン株式会社



はじめに | 本ウェビナーについてご案内

本ウェビナーは2つの動画で構成されています。

前半パート「ツール導入でコスト50%削減を実現しよう！」では、ServiceDesk Plusを導入するとどのくらいの費用対効果が得られるのか、モデル企業を例にご紹介しています。インシデント管理ツールやITSMツールを導入するメリットも解説しておりますので、ツールの導入をご検討中の方は、ぜひ合わせてご視聴ください。



ServiceDesk Plus活用による4つの改善事例

「ツール導入でコスト50%削減」を実現しよう！

ゾーホージャパン株式会社 ManageEngine事業

ZJMR202005279

4つのコスト削減例

ツール導入によるコスト削減例をご紹介します。
本コスト削減事例は、架空のモデル企業を利用したものです。(モデル企業詳細は後述)

Case 1	Case 2	Case 3	Case 4
インシデント管理 対応がパッティングし、遅延 ノウハウが属人化	リクエスト管理 依頼が重複 担当者・進捗が不明瞭	IT資産管理 エクセル管理で 手間がかかりミスが多い	ITIL®プロセス全体 ワークフローにムダが多い 部門間の連携に課題
ツール活用で インシデント管理の工数が 1/2 以下に！	社内ワークフローシステムの 改善でリクエスト対応期間を 1/2 に！	エクセル管理からの脱却で IT資産管理工数が 1/3 に！	ITIL®プロセス全体を導入し 効率化でスタッフ要員数を 2/3 に！

※ ITIL (IT Infrastructure Library®) はAXELOS Limitedの登録商標です。

ManageEngine © ZOHO Japan Corporation. All rights reserved. 4

前半パートでは、ServiceDesk Plus導入による4つのコスト削減例をご紹介します

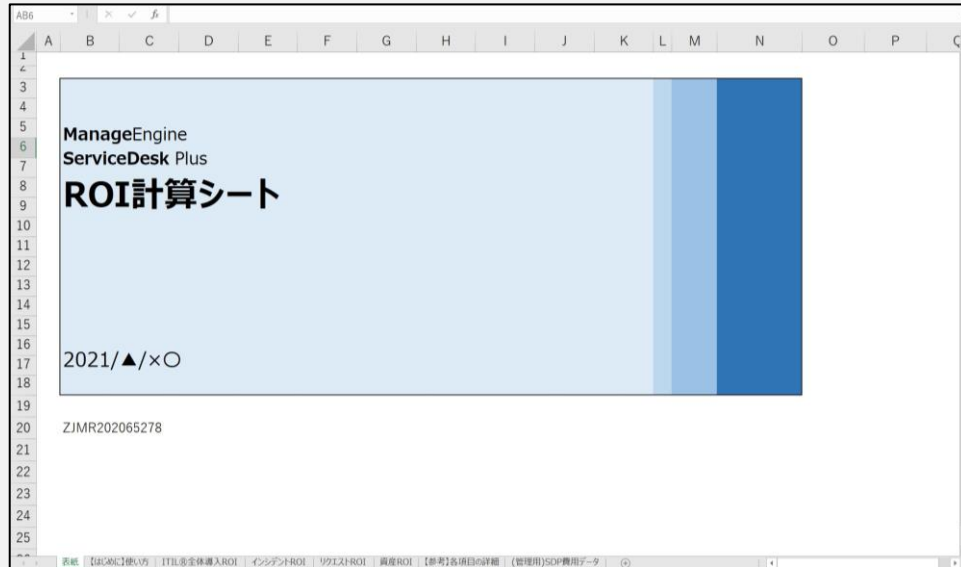
このようなお悩みをお持ちではありませんか？



ツールを導入すればもっと効率的に業務ができると思うけれど、
どのくらいの工数・コスト削減につながるのか具体的にはイメージできていない。



個人的にはツールを導入したいと思っているけれど、どのように周りを説得すればよいか分からない。
上申するため・社内稟議を通すために、有効となる情報が足りていない。



費用対効果を簡単に算出できる「ROI計算シート」



今回ROI算出の参考にするツール「ServiceDesk Plus」

シートを用いて費用対効果を算出し、ツール導入の有用性を客観的に示しましょう

- ROIとは
- ROI計算シートの使い方
- 参考情報のご案内

COST



ManageEngine
ServiceDesk Plus

ROIとは？

ROI = 消費コストに対し、どれだけの利益を得られたのかを示す指標。

すなわち、**ツール導入にかかる費用（＝投資コスト）**に対し、
どれくらいの工数や人件費削減、契約単価上昇（＝収益）が可能か
ということを数値として示しています。（収益額…効果額-投資額）

$$\text{ROI} = \text{収益額} \div \text{投資額} \times 100$$

ROI数値が高ければ高いほど、より大きな利益が得られます。

ROIとは？

ROI = 消費コストに対し、どれだけの利益を得られたのかを示す指標。

すなわち、**ツール導入にかかる費用（＝投資コスト）** に対し、
どれくらいの工数や人件費削減、契約単価上昇（＝収益） が可能か
ということを数値として示しています。（収益額…効果額-投資額）

$$\begin{aligned} \text{ROI} &= \text{50万円} \div \text{50万円} \times 100 \\ &= 100\% \end{aligned}$$

ROIとは？

ROI = 消費コストに対し、どれだけの利益を得られたのかを示す指標。

すなわち、**ツール導入にかかる費用（＝投資コスト）** に対し、
どれくらいの工数や人件費削減、契約単価上昇（＝収益） が可能か
ということを数値として示しています。（収益額…効果額-投資額）

$$\begin{aligned} \text{ROI} &= \frac{100\text{万円}}{50\text{万円}} \times 100 \\ &= 200\% \end{aligned}$$

ROI数値が高ければ高いほど、
より大きな利益が得られます。

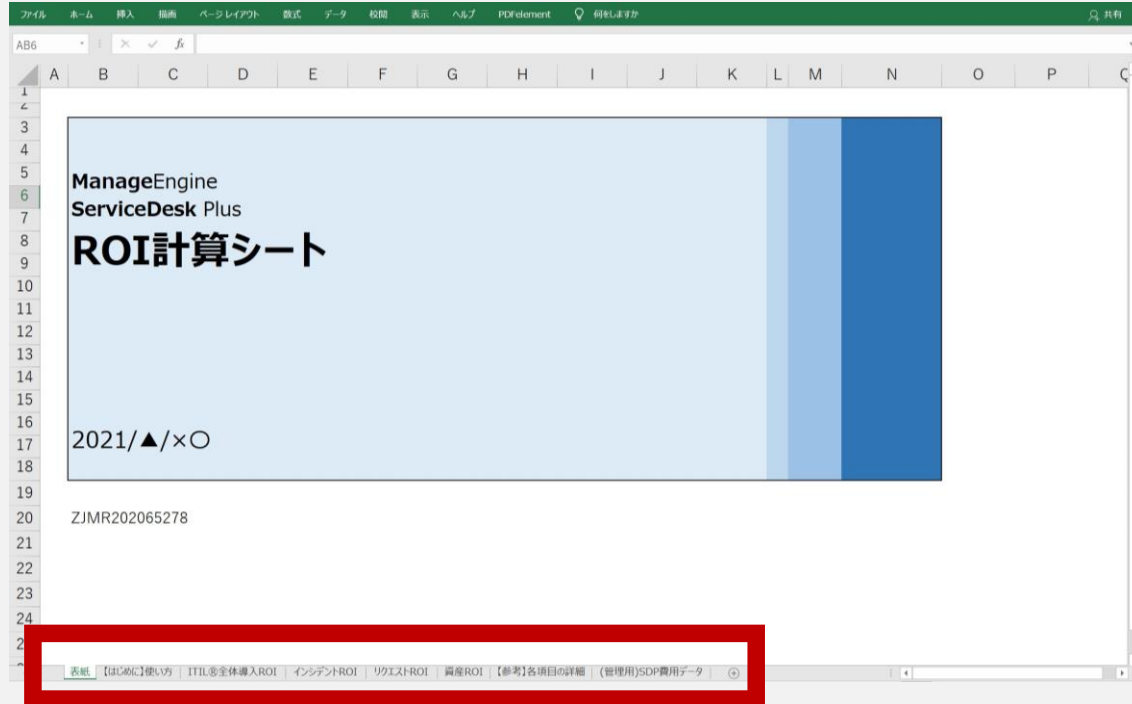
- ROIとは
- ROI計算シートの使い方
- 参考情報のご案内

COST



ManageEngine
ServiceDesk Plus

ROI計算シートの使い方

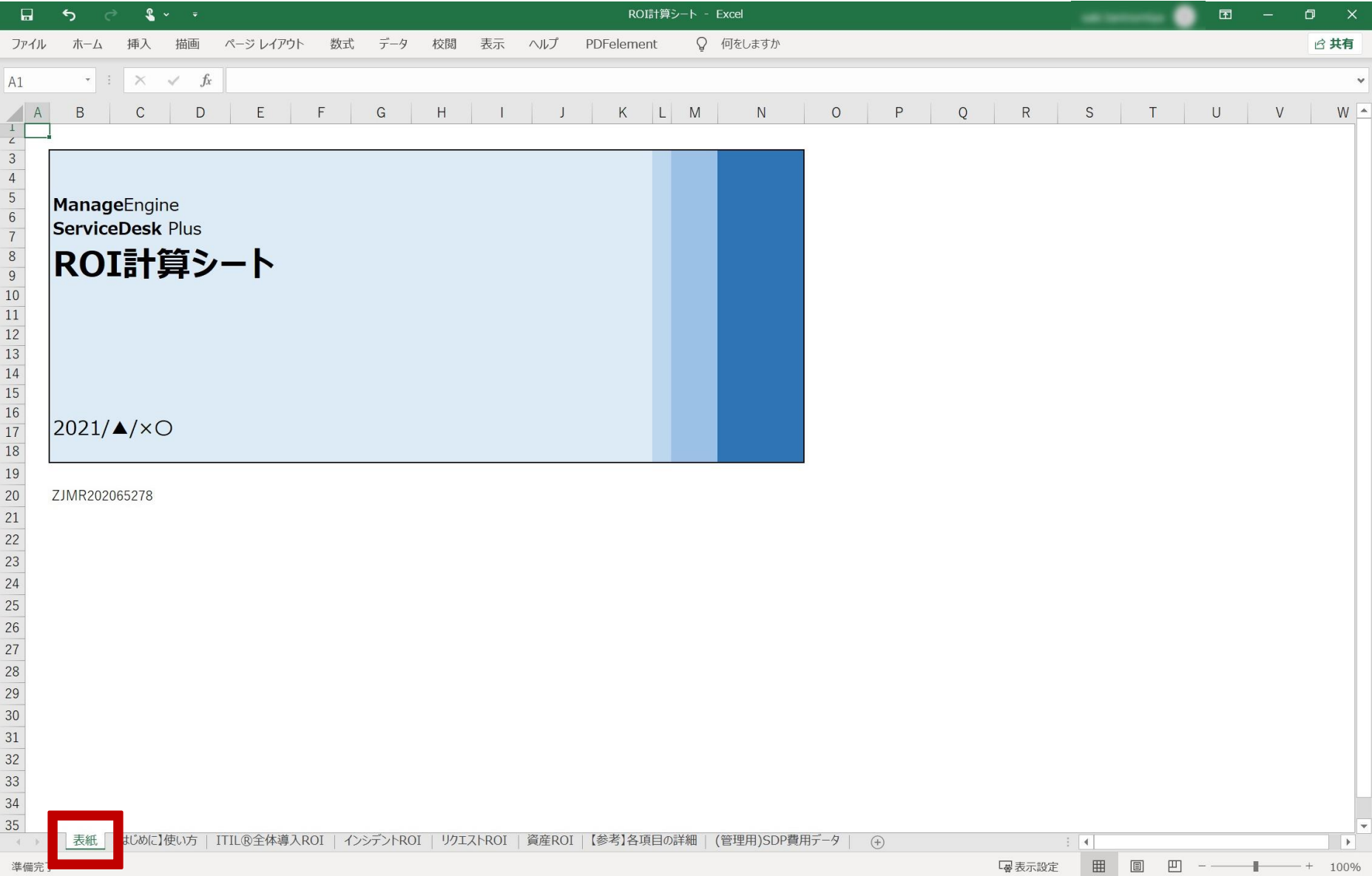


本シートのポイント

- シート内では、**5つの手順に沿ってシートの使い方を解説**。初めて本シートをご覧ください方でも、迷うことなく費用対効果を算出することができます。
- **各プロセスごとに費用対効果を算出可能**。
例えば、インシデント管理ツールを導入する場合の費用対効果を知りたい方にもぴったり。
- シート内に出てくる**項目や用語の意味の解説つき**。
分からない用語が出てきても、その意味をすぐに調べることができます。

決められたセルに数値を入力してだけで、費用対効果を簡単に算出できます

表紙タブ



【はじめに】 使い方タブ

ROI計算シート - Excel

ファイルホーム挿入描画ページレイアウト数式データ校閲表示ヘルプPDFelement何をしめすか共有

B2

【はじめに】本シートの使い方について、以下をご参照ください。

手順①利用するシートを選択してください。

…導入したいプロセスに応じて、「ITIL全体導入ROI」「インシデントROI」「リクエストROI」「資産ROI」のいずれかを選択

【はじめに】使い方

ITIL全体導入ROIインシデントROIリクエストROI資産ROI【参考】各項目の詳細(管理用)SDP費用データ

選択

手順②「あなたの会社データ」という黄色いセルに入力してください。

…入力に悩む場合は一般的な数値を入力済であるため、「ITスタッフ要員数」「ユーザ数」のみ入力

※各項目の詳細を知りたいときは、「【参考】各項目の詳細」シートを参照

◆ケース企業情報

項目	数値	単位	備考	サンプルデータ	あなたの会社データ
ITスタッフ要員数	20	人	-	20	
ユーザ数	1,000	人	ITスタッフ数×50	1,000	
変更・リリース展開対応工数（総合計時間）	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
変更・リリース関連のその他対応工数（総合計時間）	1,600.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×50%	1,600	
インシデント対応工数（総合計時間）	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
重大インシデント発生件数	1.00	件/月	-	1	

入力

手順③SDPライセンス情報をプルダウンで選択してください。

…「オンプレミス/クラウド」「エディション」「ライセンス数」をすべて選択すると、「初期費用」「年間費用」が自動決定

◆SDPライセンスの詳細

オンプレミス/クラウド	エディション	ライセンス数	初期費用（購入費&初年度保守費）	年間費用
オンプレミス(通常ライセンス)	Enterprise	20	¥5,218,000	¥870,000

※「ライセンス数：5」は「エディション：Enterprise」のみ

選択

反映

※「ITIL全体導入ROI」シート、または「資産ROI」シートを選択した場合、「エディション」はEnterpriseを選択して下さい。

※「インシデントROI」シート、または「リクエストROI」シートを選択した場合、「エディション」はStandardを選択して下さい。

【はじめに】使い方

ITIL@全体導入ROIインシデントROIリクエストROI資産ROI【参考】各項目の詳細(管理用)SDP費用データ

準備完了

表示設定

100%

ManageEngine

© ZOH0 Japan Corporation. All rights reserved.

36

ITIL®全体導入ROI、インシデントROI、リクエストROI、資産ROIタブ

ROI計算シート - Excel

ファイルホーム挿入描画ページレイアウト数式データ校閲表示ヘルプPDFelement何をししますか共有

A10

ROI計算書 (ITIL®全体導入)

◆まとめ単位: 円

項目	初期投資	3年累計	5年累計
投資額	¥15,016,000	¥19,168,000	¥22,860,000
効果額	-	¥235,680,000	¥392,800,000
収益額	-	¥216,512,000	¥369,940,000
ROI(%)	-	1130%	1618%

ROI=投資収益率

(参考) IRR、NPVでの算出

項目	-	3年累計	5年累計
IRR	-	516%	519%
NPV	-	¥177,020,364	¥277,050,416

IRR=内部収益率
NPV=正味現在価値

NPV割引率10%

本ROI算出シートでは、NPV割引率を10%が適正であると想定しています。
あなたの会社でNPV割引率に定めがある場合など、必要に応じて変更して下さい。

◆ケース企業情報

項目	数値	単位	備考	サンプルデータ	あなたの会社データ
ITスタッフ要員数	20	人	ITサービス提供に要する人員数	20	
ユーザ数	1,000	人	ITスタッフ数×50	1,000	
ITスタッフ要員1人あたり人件費(販管費を含む)	¥600,000	円/人	一か月の1人あたり平均額	¥600,000	
変更・リリース対応(企画設計含)工数(総合計時間)	1,120.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×35%	1,120	
その他業務対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
インシデント対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
重大インシデント発生件数	1.00	件/月	-	1	
重大インシデント平均回復時間(MTTR)	2.00	時間/件	-	2	
リクエスト対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
IT資産管理対応工数(総合計時間)	160.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×5%	160	
ライセンスコスト総額	¥10,000,000	円/年	-	¥10,000,000	
IT資産保守コスト総額	¥10,000,000	円/年	-	¥10,000,000	

黄色いセルに
あなたの会社データを
入力して下さい。
「数値」に反映されます。

データの入力に難しい場合は、
・「ITスタッフ要員数」
・「ユーザ数」
のみ入力して下さい。
その他の数値は、
一般的数値が表示されます。

準備完了

表紙【はじめに】使い方ITIL®全体導入ROIインシデントROIリクエストROI資産ROI【参考】各項目の詳細(管理用)SDP費用データ

表示設定

100%

ITIL®全体導入ROI、インシデントROI、リクエストROI、資産ROIタブ

項目	初期投資	3年累計	5年累計
投資額	¥15,016,000	¥19,168,000	¥22,860,000
効果額	-	¥235,680,000	¥392,800,000
収益額	-	¥216,512,000	¥369,940,000
ROI(%)	-	1130%	1618%

項目	3年累計	5年累計
IRR	516%	519%
NPV	¥177,020,364	¥277,050,416

項目	数値	単位	備考	サンプルデータ	あなたの会社データ
ITスタッフ要員数	20	人	ITサービス提供に要する人員数	20	
ユーザ数	1,000	人	ITスタッフ数×50	1,000	
ITスタッフ要員1人あたり人件費(販管費を含む)	¥600,000	円/人	一か月の1人あたり平均額	¥600,000	
変更リリース対応(企画設計含)工数(総合計時間)	1,120.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×35%	1,120	
その他業務対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
インシデント対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
重大インシデント発生件数	1.00	件/月	-	1	
重大インシデント平均回復時間(MTTR)	2.00	時間/件	-	2	
リクエスト対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
IT資産管理対応工数(総合計時間)	160.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×5%	160	
ライセンスコスト総額	¥10,000,000	円/年	-	¥10,000,000	
IT資産保守コスト総額	¥10,000,000	円/年	-	¥10,000,000	

ITIL®全体導入ROI

インシデント管理や問題管理、変更管理、資産管理などのITIL®プロセスにツールを導入する場合のROI算出に使用

インシデントROI

インシデント管理プロセスにツールを導入する場合のROI算出に使用

リクエストROI

リクエスト管理プロセス（いわゆるサービス要求管理プロセスなど）にツールを導入する場合のROI算出に使用

資産ROI

資産管理プロセスにツールを導入する場合のROI算出に使用

【参考】各項目の詳細タブ

ROI計算シート - Excel

ファイルホーム挿入描画ページレイアウト数式データ校閲表示ヘルプPDFelement何をししますか共有

O1

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	見出し	項目名称(五十音順)	詳細					
2	I	IRR	内部収益率。 一定期間における収益率を、「どれだけ早く利益が得られるか」を考慮して算出するもの。利益が得られるタイミングが早いほどIRRは高くなる。					
3		IT資産管理対応工数(総合計時間)	IT資産管理対応(情報収集、データ入力、棚卸など)に要する延べ時間。各シートでは、月間の延べ時間を記載。					
4		IT資産管理対応工数の削減率	IT資産管理対応延べ時間のうち、ツール導入によって削減可能な割合。 ツールによる資産情報収集の自動化、自動レポート作成などの効果によって算出。					
5		IT資産管理対応人件費の削減額	IT資産管理対応人件費のうち、ツール導入によって削減される金額。 削減額は、削減率とITスタッフ要員の人件費に基づいて計算される。 ⇒ツール導入前の人件費(=人件費×導入前工数)−導入後の人件費(=人件費×導入後工数)=人件費の削減額					
6		IT資産管理品質向上に伴う人件費の削減額	他プロセス(インシデント、変更・リリースなど)対応人件費のうち、IT資産管理の正確性向上などによって削減される金額。 IT資産管理プロセスが整備されると、変更・リリース管理の成功率向上や、インシデント対応時間削減などの効果が得られる。 削減額は、削減率とITスタッフ要員の人件費に基づいて計算される。 ⇒ツール導入前の人件費(=人件費×導入前工数)−導入後の人件費(=人件費×導入後工数)=人件費の削減額					
7		IT資産管理品質向上に伴う他プロセス工数の削減率	他プロセス(インシデント、変更・リリースなど)対応延べ時間のうち、IT資産管理の正確性向上などによって削減される割合。 IT資産管理プロセス整備に伴う、変更・リリース管理の成功率向上や、インシデント対応時間削減などの効果によって算出。					
8		IT資産保守コスト削減率	IT資産保守コストのうち、ツール導入によって削減可能な割合。 ツールによるIT資産管理の正確性向上、適切な資産保守などの効果によって算出。					
9		IT資産保守コスト総額	IT資産保守にかかるコストの総額。					
10		ITスタッフ要員数	ITサービス提供に要する、ITスタッフの要員数。協力会社やパート・アルバイトも含む。					
11		ITスタッフ要員1人あたり人件費(販管費含む)	ITスタッフ1人あたりにかかっている人件費の平均月額。					
12	N	NPV	正味現在価値。 将来に得られる利益額を現時点での価値に直すといくらになるかを算出するもの。将来に得られる利益は現在価値に直すと減額される。					
13		NPV割引率	将来価値を現在価値に直すために、将来価値を値引く目的で使用する割合。 本シートでは内部プロセス改善の目的で算出しているため、「10%」としている。					
14	R	ROI(%)	投資収益率。収益額÷投資額×100で算出される。 投資額に対して得られる利益の割合で、					

表紙【はじめに】使い方ITIL®全体導入ROIインシデントROIリクエストROI資産ROI【参考】各項目の詳細管理用SDP費用データ

準備完了

表示設定

100%

インシデントROIを計算してみよう



モデル企業のデータ

- ITスタッフ要員数：7人
- ユーザー数：350人
- 自社内ユーザー向けのヘルプデスクを運用しており、インシデント管理ツールの導入を検討中

※ITスタッフ数＝ツールを用いてインシデント対応にあたる人数のこと
※ユーザー数＝モデル企業に提供されているITサービスを利用する人数のこと

モデル企業のデータをもとに、費用対効果の算出方法を解説します

インシデントROIを計算してみよう

- ① 利用するシートを選択
- ② 「あなたの会社データ」を入力
- ③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択
- ④ 「あなたの会社にもたらす効果」および「あなたの会社でかかる費用」を任意で入力
- ⑤ ROI計算結果を確認

ManageEngine
ServiceDesk Plus

5つの手順に沿って、費用対効果の算出方法を解説します

インシデントROIを計算してみよう

- ① 利用するシートを選択
- ② 「あなたの会社データ」を入力
- ③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択
- ④ 「あなたの会社にもたらす効果」および「あなたの会社でかかる費用」を任意で入力
- ⑤ ROI計算結果を確認

ManageEngine
ServiceDesk Plus

5つの手順に沿って、費用対効果の算出方法を解説します

手順① 利用するシートを選択

項目	初期投資	3年累計	5年累計
投資額	¥15,016,000	¥19,168,000	¥22,860,000
効果額	-	¥235,680,000	¥392,800,000
収益額	-	¥216,512,000	¥369,940,000
ROI(%)	-	1130%	1618%

ROI=投資収益率

(参考) IRR、NPVでの算出

項目	3年累計	5年累計
IRR	516%	519%
NPV	¥177,020,364	¥277,050,416

IRR=内部収益率
NPV=正味現在価値

NPV割引率 10%

本ROI算出シートでは、NPV割引率を10%が適正であると想定しています。
あなたの会社でNPV割引率に定めがある場合など、必要に応じて変更して下さい。

項目	数値	単位	備考	サンプルデータ	あなたの会社データ
ITスタッフ要員数	20	人	ITサービス提供に要する人員数	20	
ユーザ数	1,000	人	ITスタッフ数×50	1,000	
ITスタッフ要員1人あたり人件費(販管費を含む)	¥600,000	円/人	一か月の1人あたり平均額	¥600,000	
変更・リリース対応(企画設計含)工数(総合計時間)	1,120.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×35%	1,120	
その他業務対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
インシデント対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
重大インシデント発生件数	1.00	件/月	-	1	
重大インシデント平均回復時間(MTTR)	2.00	時間/件	-	2	
リクエスト対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
IT資産管理対応工数(総合計時間)	160.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×5%	160	
ライセンスコスト総額	¥10,000,000	円/年	-	¥10,000,000	
IT資産保守コスト総額	¥10,000,000	円/年	-	¥10,000,000	

ITIL®全体導入ROI

インシデント管理や問題管理、変更管理、資産管理などのITIL®プロセスにツールを導入する場合のROI算出に使用

インシデントROI

インシデント管理プロセスにツールを導入する場合のROI算出に使用

リクエストROI

リクエスト管理プロセス（いわゆるサービス要求管理プロセスなど）にツールを導入する場合のROI算出に使用

資産ROI

資産管理プロセスにツールを導入する場合のROI算出に使用

A1 f_x

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ManageEngine
ServiceDesk Plus

ROI計算シート

2021/▲/×○

ZJMR202065278

AH21

ROI計算書 (インシデント管理導入)

◆まとめ

単位：円

項目	初期投資	3年累計	5年累計
投資額	¥5,899,000	¥8,581,000	¥10,503,000
効果額	-	¥82,800,000	¥138,000,000
収益額	-	¥74,219,000	¥127,497,000
ROI(%)	-	865%	1214%

ROI=投資収益率

(参考) IRR、NPVでの算出

項目	-	3年累計	5年累計
IRR	-	452%	454%
NPV	-	¥60,530,977	¥95,266,496

IRR=内部収益率

NPV=正味現在価値

NPV割引率 10%

本ROI算出シートでは、NPV割引率を10%が適正であると想定しています。
あなたの会社でNPV割引率に定めがある場合など、必要に応じて変更して下さい。

◆ケース企業情報

項目	数値	単位	備考	サンプルデータ	あなたの会社データ
ITスタッフ要員数	20	人		20	
ユーザ数	1,000	人	ITスタッフ数×50	1,000	
ITスタッフ要員1人あたり人件費(販管費を含む)	¥600,000	円/人	一か月の1人あたり平均額	¥600,000	
インシデント対応工数(総合計時間)	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
重大インシデント発生件数	1.00	件/月		1	
重大インシデント平均回復時間(MTTR)	2.00	時間/件		2	

◆ケース企業情報 (ベンダ専用項目)

項目	数値	単位	備考	サンプルデータ	あなたの会社データ
売上：契約単価平均額(1人月あたり)	¥0	円		¥0	

◆SDPライセンスの詳細

オンプレミス/クラウド	エディション	ライセンス数	初期費用(購入費&初年度保守費)	年間費用
オンプレミス(通常ライセンス)	Standard	10	¥1,199,000	¥201,000

黄色いセルに
あなたの会社データを入力して
下さい。「数値」に反映されます。

データの入力が難しい場合は、
・「ITスタッフ要員数」
・「ユーザ数」のみ入力して下さい。
その他の数値は、
一般的数値が表示されます。

ベンダ専用：黄色いセルに
「契約単価平均額(1人月)」を
入力して下さい。

黄色いセルをクリックし、
希望するライセンスの

インシデントROIを計算してみよう

- ① 利用するシートを選択
- ② 「あなたの会社データ」を入力
- ③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択
- ④ 「あなたの会社にもたらす効果」および「あなたの会社でかかる費用」を任意で入力
- ⑤ ROI計算結果を確認

ManageEngine
ServiceDesk Plus

5つの手順に沿って、費用対効果の算出方法を解説します

手順② 「あなたの会社データ」を入力

17	◆ケース企業情報					
18	項目	数値	単位	備考	サンプルデータ	あなたの会社データ
19	ITスタッフ要員数	20	人		20	
20	ユーザー数	1,000	人	ITスタッフ数×50	1,000	
21	ITスタッフ要員1人あたり人件費(販管費を含む)	¥600,000	円/人	一か月の1人あたり平均額	¥600,000	
22	インシデント対応工数（総合計時間）	640.00	時間/月	ITスタッフ数総稼働時間×20%	640	
23	重大インシデント発生件数	1.00	件/月		1	
24	重大インシデント平均回復時間（MTTR）	2.00	時間/件		2	
25						
26	◆ケース企業情報（ベンダ専用項目）					
27	項目	数値	単位	備考	サンプルデータ	あなたの会社データ
28	売上：契約単価平均額（1人月あたり）	¥0	円		¥0	
29						

- データの入力が難しい場合は、「ITスタッフ要員数」と「ユーザー数」のみを入力すれば大丈夫です。
- 黄色セルを空欄のままにすると、サンプルデータの数値が自動的に計算結果に反映されます。
- 外部顧客向けにサービス提供を行っている場合は、ベンダ専用項目もご入力ください。

インシデントROIを計算してみよう

- ① 利用するシートを選択
- ② 「あなたの会社データ」を入力
- ③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択
- ④ 「あなたの会社にもたらす効果」および「あなたの会社でかかる費用」を任意で入力
- ⑤ ROI計算結果を確認

ManageEngine
ServiceDesk Plus

5つの手順に沿って、費用対効果の算出方法を解説します

手順③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択

30	◆SDPライセンスの詳細							
31	オンプレミス/クラウド	エディション	ライセンス数	初期費用（購入費＆初年度保守費）			年間費用	
32	オンプレミス(通常ライセンス)	Standard	10	¥1,199,000			¥201,000	
33	※「ライセンス数：5」は「エディション：Enterprise」のみ							
34								
35	◆投資費目							単位：円
36	項目	初期投資	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
37	SDPライセンス	¥1,199,000	¥0	¥201,000	¥201,000	¥201,000	¥201,000	
38	インフラストラクチャ	¥500,000	¥100,000	¥100,000	¥100,000	¥100,000	¥100,000	
39	業務設計、システム構築委託	¥3,000,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000	
40	内部工数（導入時、および維持）	¥1,200,000	¥360,000	¥360,000	¥360,000	¥360,000	¥360,000	
41	合計	¥5,899,000	¥760,000	¥961,000	¥961,000	¥961,000	¥961,000	
42								
43	◆効果費目							単位：円
44	項目	-	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
45	インシデント対応人件費の削減額	-	¥5,040,000	¥5,040,000	¥5,040,000	¥5,040,000	¥5,040,000	
46	機会損失(金額)の削減額	-	¥4,620,000	¥4,620,000	¥4,620,000	¥4,620,000	¥4,620,000	
47	<ベンダ専用>契約単価平均の上昇額（1人あたり）	-	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
48	合計	-	¥9,660,000	¥9,660,000	¥9,660,000	¥9,660,000	¥9,660,000	
49								

手順③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択

30	◆SDPライセンスの詳細				
31	オンプレミス/クラウド	エディション	ライセンス数	初期費用（購入費 & 初年度保守費）	年間費用
32	オンプレミス(通常ライセンス)	Standard	10	¥1,199,000	¥201,000
33	オンプレミス(通常ライセンス)	※「ライセンス数：5」は「エディション：Enterprise」のみ			
34	オンプレミス(年間ライセンス) クラウド(年間ライセンスのみ)				

- ServiceDesk Plusはオンプレミス版とクラウド版がございますので、どちらかの利用形態をご選択ください。
- オンプレミス版は、2種類のライセンス形態をご提供しています。通常ライセンス、もしくは年間ライセンスのどちらかをご選択ください。
- クラウド版は、年間ライセンスのみご提供しています。

参考情報

[ライセンスの選択方法を解説するブログを読む](#)

参考情報

[オンプレミス版とクラウド版の価格表を見る](#)

参考情報

[オンプレミス版とクラウド版の機能差異を知る](#)

手順③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択

30	◆SDPライセンスの詳細				
31	オンプレミス/クラウド	エディション	ライセンス数	初期費用（購入費＆初年度保守費）	年間費用
32	オンプレミス(通常ライセンス)	Standard	10	¥1,199,000	¥201,000
33		Standard	「ライセンス数：5」は「エディション：Enterprise」のみ		
34		Professional Enterprise			

- ServiceDesk Plusには3つのエディションがございます。
- 「インシデントROI」タブ、もしくは「リクエストROI」タブをお使いの場合は、Standardをご選択ください。
- 「ITIL®全体導入ROI」タブ、もしくは「資産ROI」タブをお使いの場合は、Enterpriseをご選択ください。

参考情報

[ライセンスの選択方法を解説するブログを読む](#)

参考情報

[オンプレミス版の各Editionで使える機能を知る](#)

参考情報

[クラウド版の各Editionで使える機能を知る](#)

手順③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択

30	◆SDPライセンスの詳細				
31	オンプレミス/クラウド	エディション	ライセンス数	初期費用（購入費 & 初年度保守費）	年間費用
32	オンプレミス(通常ライセンス)	Standard	10	¥1,199,000	¥201,000
33			5	Enterprise」のみ	
34			10		
			20		
35	◆投資費目		50	単位：円	
			100		
36	項目	初期投資	200	3年目	4年目
				5年目	

- 手順①で入力した「ITスタッフ要員数」と同じライセンス数、もしくはそれを上回るライセンス数をご選択ください。
- ライセンス数「5」は、Enterprise Editionを利用するお客様のみご選択いただけます。

参考情報

[ライセンスの選択方法を解説するブログを読む](#)

参考情報

[オンプレミス版とクラウド版の価格表を見る](#)

参考情報

[オペレーターの定義について](#)

手順③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択

30 ◆SDPライセンスの詳細

31	オンプレミス/クラウド	エディション	ライセンス数	初期費用（購入費＆初年度保守費）	年間費用
32	オンプレミス(通常ライセンス)	Standard	10	¥1,199,000	¥201,000

33 ※「ライセンス数：5」は「エディション：Enterprise」のみ

34

35 ◆投資費目

36

項目	初期投資	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目

単位：円

- 3つの黄色セルの入力が完了すると、初期費用（購入費＆初年度保守費）と年間費用が自動的に算出されます。
- Excelシートのロックを解除すると、初期費用（購入費＆初年度保守費）と年間費用を自由に入力することも可能になります。

参考情報

[ライセンスの選択方法を解説するブログを読む](#)

参考情報

[ゾーホージャパンによる導入支援の内容を見る](#)

参考情報

[導入支援ができるパートナー企業一覧を見る](#)

\times	\checkmark	f_x
----------	--------------	-------

相談窓口のご案内

① Webフォーム

ManageEngine 営業窓口へのお問合せ

技術サポート依頼に関しましては下記リンク先よりお願い致します。

[◇ご購入前の評価版を使用した技術サポートはこちらのリンク先からお問い合わせください。](#)

[◇ご購入後の技術サポート\(年間保守サポート\)はManageEngine Communityからお問い合わせください。](#)

次のフォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

会社名	<input type="text"/>		
氏名	姓: <input type="text"/>	名: <input type="text"/>	
電話番号	<input type="text"/> 半角でご記入ください		

[営業窓口にお問い合わせる](#)
製品担当者よりメールにて折り返しご連絡いたします。

③ 電話



[電話（045-319-4612）で相談する](#)
電話でのご連絡は、平日9:00～18:00にて受け付けています。

② チャット

• [Editionと価格](#)
• [Editionごとの機能比較詳細](#)

クラウド版	オンプレミス版	
年間ライセンスの場合 (サポート付)	年間ライセンスの場合 (サポート付)	通算ライセンスの場合 (即年度サポート付)
48.5万円～	48.5万円～	119.9万円～

ITSMをクラウドで
選ばれる3つの特長とは

製品導入を検討するため、説明を受けたい。
実際の画面や使用感を見てみたい。
口頭で細かいニュアンスの質問をしたい。

チャットで今すぐ
ご質問下さい！

[チャットで質問する](#)
画面右下のチャットボックス経由で、ご連絡いただけます。

④ オンライン相談

こんな方におすすめです

製品導入を検討するため、説明を受けたい。
実際の画面や使用感を見てみたい。
口頭で細かいニュアンスの質問をしたい。

[オンライン相談に申し込む](#)
製品の詳細について、オンラインで個別にご説明いたします。

いずれかの方法にて、お気軽にお問い合わせください

インシデントROIを計算してみよう

- ① 利用するシートを選択
- ② 「あなたの会社データ」を入力
- ③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択
- ④ 「あなたの会社にもたらす効果」および「あなたの会社でかかる費用」を任意で入力
- ⑤ ROI計算結果を確認

ManageEngine
ServiceDesk Plus

5つの手順に沿って、費用対効果の算出方法を解説します

手順④ 「あなたの会社にもたらす効果」 「あなたの会社でかかる費用」を任意入力

54◆費目の算出にあたり

55・効果費目の算出根拠

項目	数値	単位	算出理由	サンプルデータ	あなたの会社にもたらす効果
インシデント対応工数の削減率	50	%	-	50	
重大インシデント発生件数の削減率	10	%	-	10	
重大インシデント平均回復時間（MTTR）の削減率	50	%	-	50	
重大インシデントによる機会損失額	¥1,000,000	円/1回当たり	重大インシデント影響ありユーザ×¥10,000×MTTR	¥1,000,000	

61

62・効果費目の算出根拠（ベンダ専用項目）

項目	数値	単位	算出理由	サンプルデータ	あなたの会社にもたらす効果
契約単価平均（1人月あたり）の上昇率	0	%	-	0	

65

66・投資費目の算出根拠

				サンプルデータ		あなたの会社でかかる費用	
項目	初期投資	年間	算出理由	初期投資	年間	初期投資	年間
SDPライセンス	¥1,199,000	¥201,000	「SDPライセンスの詳細」から算出	¥1,199,000	¥201,000	自動反映(SDPライセンス詳細より算出)	自動反映(SDPライセンス詳細より算出)
インフラストラクチャ	¥500,000	¥100,000	仮想サーバ1台	¥500,000	¥100,000		
業務設計、システム構築委託	¥3,000,000	¥300,000	-	¥5,000,000	¥0	¥3,000,000	¥300,000
内部工数（導入時、および維持）	¥1,200,000	¥360,000	ITスタッフ要員数の人件費から算出	¥1,200,000	¥360,000	自動反映（工数より算出）	自動反映（工数より算出）
	2.00人月	0.60人月	工数（人月）	2.00人月	0.60人月		

72

73

入力任意です。
他社事例をもとにサンプルデー
タを入力してあります。

ベンダ専用：黄色いセルに
「契約単価平均（1人月あたり）
の上昇率」を入力して下さい。
⇒入力の目安：5%

入力は任意です。

他社事例をもとにサンプルデータを入力してあります。

ベンダ専用：黄色いセルに「契約単価平均（1人月あたり）の上昇率」を入力して下さい。
⇒入力の目安：5%

- 入力は任意です。黄色セルを空欄のままにすると、サンプルデータの数値が自動的に計算結果に反映されます。
- 外部顧客向けにサービス提供を行っている場合は、ベンダ専用項目もご入力ください。

\times	\checkmark	f_x
----------	--------------	-------

黄色いセルをクリックし、
希望するライセンスの

デモンストレーション形式での解説

「データを入力して
直」に反映されます。

が難しい場合は、
要員数」
)み入力して下さい。

その他の数値は、
一般的数値が表示されます。

ベンダ専用：黄色いセルに
「契約単価平均額(1人月)」を
入力して下さい。

黄色いセルをクリックし、
希望するライセンスの

相談窓口のご案内

① Webフォーム

ManageEngine 営業窓口へのお問合せ

技術サポート依頼に関しましては下記リンク先よりお願い致します。

[◇ご購入前の評価版を使用した技術サポートはこちらのリンク先からお問い合わせください。](#)

[◇ご購入後の技術サポート\(年間保守サポート\)はManageEngine Communityからお問い合わせください。](#)

次のフォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

会社名	<input type="text"/>		
氏名	姓: <input type="text"/>	名: <input type="text"/>	
電話番号	<input type="text"/> 半角でご記入ください		

[営業窓口にお問い合わせる](#)
製品担当者よりメールにて折り返しご連絡いたします。

③ 電話



[電話（045-319-4612）で相談する](#)
電話でのご連絡は、平日9:00～18:00にて受け付けています。

② チャット

• [Editionと価格](#)
• [Editionごとの機能比較詳細](#)

クラウド版	オンプレミス版	
年間ライセンスの場合 (サポート付)	年間ライセンスの場合 (サポート付)	通算ライセンスの場合 (即年度サポート付)
48.5万円～	48.5万円～	119.9万円～

ITSMをクラウドで
選ばれる3つの特長とは

製品導入を検討するため、説明を受けたい。
実際の画面や使用感を見てみたい。
口頭で細かいニュアンスの質問をしたい。

チャットで今すぐ
ご質問下さい！

[チャットで質問する](#)
画面右下のチャットボックス経由で、ご連絡いただけます。

④ オンライン相談

こんな方におすすめです

製品導入を検討するため、説明を受けたい。
実際の画面や使用感を見てみたい。
口頭で細かいニュアンスの質問をしたい。

[オンライン相談に申し込む](#)
製品の詳細について、オンラインで個別にご説明いたします。

いずれかの方法にて、お気軽にお問い合わせください

インシデントROIを計算してみよう

- ① 利用するシートを選択
- ② 「あなたの会社データ」を入力
- ③ ServiceDesk Plusのライセンス情報を選択
- ④ 「あなたの会社にもたらす効果」および「あなたの会社でかかる費用」を任意で入力
- ⑤ ROI計算結果を確認

ManageEngine
ServiceDesk Plus

5つの手順に沿って、費用対効果の算出方法を解説します

手順⑤ ROI計算結果を確認

1	ROI計算書（インシデント管理導入）				
2					
3	◆まとめ		単位：円		ツール導入にはプラスの効果があると判断可能。 みなさまの組織のROIもぜひ算出していただき、 社内提案等を行う際の一助にいただければ幸いです。
4	項目	初期投資	3年累計	5年累計	
5	投資額	¥1,985,000	¥4,755,000	¥6,925,000	
6	効果額	-	¥11,223,000	¥18,705,000	
7	収益額	-	¥6,468,000	¥11,780,000	
8	ROI(%)	-	136%	170%	ROI=投資収益率
9					
10	(参考) IRR、NPVでの算出				
11	項目	-	3年累計	5年累計	
12	IRR	-	138%	147%	IRR=内部収益率
13	NPV	-	¥5,060,988	¥8,524,239	NPV=正味現在価値
14					
15	NPV割引率	10%	本ROI算出シートでは、NPV割引率を10%が適正であると想定しています。 あなたの会社でNPV割引率に定めがある場合など、必要に応じて変更して下さい。		
16					
17	◆ケース企業情報				

ツール導入にはプラスの効果があると判断可能。
みなさまの組織のROIもぜひ算出していただき、
社内提案等を行う際の一助にいただければ幸いです。

ROI=投資収益率

IRR=内部収益率

NPV=正味現在価値

- ROIとは
- ROI計算シートの使い方
- 参考情報のご案内

COST



ManageEngine
ServiceDesk Plus

今後のアクションステップ

今回はモデル企業を例にROIの算出方法を解説いたしましたが、「**主業務がある中、自社でROIを算出するのは難しい**」「**インシデント管理プロセスだけではなく、幅広いプロセスにITSMツールを導入する場合のROIを算出したい**」などの所見をお持ちの方もいらっしゃると思います。そのような場合、以下の課題相談サービス（無料）を利用されることをおすすめいたします。

課題相談のメリット

1. 貴社の課題を整理できるROI計算書をご提供します。
2. ITSM分野の専門的な知識を持ったコンサルタント（パートナー企業）をご紹介します、対面のご挨拶に伺います。
3. 具体的なコスト削減プランをご提示するので、社内検討や稟議を進めやすくなります。



ROI計算書(Excel)には、入力手順など使い方が記載されています。導入後イメージのご参考にお使いください。

まずはココから！



ITSM分野に実績のある支援企業（弊社パートナー）をご紹介します、訪問に参ります。



支援企業より、具体的なコスト削減プランをご提示します。

Point!

弊社製品のご購入や支援企業のサービスご利用は必須ではありません。ひとまずのご挨拶のみでもお伺い致します。

まずは貴社の課題を整理するだけでも有益です！ぜひご検討ください

製品の概要資料・評価版をダウンロードする

ServiceDesk Plusの特徴を分かりやすく説明する概要資料をご用意しています。製品導入の検討・提案時にご活用ください。
また評価版は、すべての機能を30日間無料でご利用いただけます。ServiceDesk Plusの機能・操作感をぜひお試しください。

ManageEngine
ServiceDesk Plus
ITサービスマネジメントツール

クリックして
概要資料を
ダウンロード



クリックして
オンプレミス版の評価版を
ダウンロード



クリックして
クラウド版の評価版に
サインアップ



ServiceDesk Plusの導入・提案をぜひご検討ください

営業連絡先

ゾーホージャパン株式会社 ManageEngine 営業担当



045-319-4612



jp-mesales@zohocorp.com

〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号
みなとみらいセンタービル13階

ServiceDesk Plus製品サイト
https://www.manageengine.jp/products/ServiceDesk_Plus/

